

災害・福祉に強いまちづくりをめざして



社協だより

大阪狭山市

第72号

発行所

社会福祉法人 大阪狭山市社会福祉協議会

〒589-0021

大阪狭山市今熊1丁目85番地

TEL (072)367-1761

FAX (072)366-7407

E-mail sayama@bf.wakwak.com

URL www.osaka-sayama.or.jp/

重点目標

「無縁社会」「高齢者の所在不明問題など社会から孤立する人が急速に増え続け、地域との結びつきが弱まっています。また、今回の東日本大震災においては、地域のコミュニティの重要性が改めて再認識されました。
いま、地域では高齢者介護や障がい者支援、災害発生時の支援など、地域での安心安全の確保といった地域住民が抱える問題に対応すべく、地域コミュニティの充実が求められています。
住民一人ひとりが日頃から、共に支え合っていくことが、地域の中で主体的に築いて『地域の福祉力を高めていく』ため、地区福祉委員会や小地域ネットワーク活動を核とする住民主体の地域福祉活動の推進、並びに多様な公益的活動を担っているボランティア・市民活動の振興を図ります。」

- 1 地区福祉委員会の支援の充実**
- 2 小地域ネットワーク活動の支援の充実**
「地区福祉委員会や小地域ネットワーク活動の手引き」等を使って、よりいっそう活動が活発になるよう支援を行います。
- 3 ヒューマン・ケア事業の充実**
PTAクラブを市内各所におき、利用会員だけでなく協力会員の増強を図ります。
- 4 災害ボランティアに対する取り組み及びボランティアセンターの基盤強化**
大阪狭山市と災害時におけるボランティア活動支援に関する協定を結び、平常時から災害時を想定した訓練や研修等を行います。
また、社会福祉協議会の組織の見直しを行い、ボランティア活動がより充実するよう支援を行います。
- 5 認知症対策事業の充実**
昨年養成したキャラバンメイト(認知症サポーター養成講座の講師を活用して、認知症サポーター養成講座の開催を増やし)、認知症の理解を深めます。
- 6 社会福祉協議会の組織強化**
4月からの機構改革に伴う人事異動を通して、社会福祉協議会の組織を強化するここで、新たな視点で、地域レベルの課題と市レベルの課題をより明確にし、地域への支援の充実を図ります。

大阪狭山市社会福祉協議会の災害への取り組み

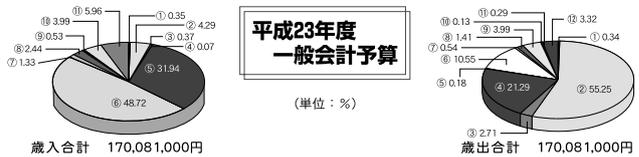
震災発生後、社協では3月16日、5月1日、5月5日からいずれも1週間程度延べ3名の職員を派遣し、宮城県下の社会福祉協議会支援及び義援金の呼びかけを行いました。

震災発生当初は、沿岸部にがれきの山が連なり、ライフラインも復旧しておらず、ガソリンが極端に不足している状態で、県外からのボランティア活動支援の受け入れは困難でした。

震災から1ヶ月が経過したころからようやく、宮城県内のいくつかの市町村災害ボランティアセンターで、県外ボランティアの受付が始まりました。

社協では、原発事故の動向や二次災害への懸念もありますが、今後の活動につなげるため、災害ボランティアに関する情報の提供や義援金の受付を継続して行っています。

また、市民の皆さまから寄せられた心温まる義援金は、総額847,357円(4月末日現在)となっており中央共同募金会に届けました。ありがとうございました。



歳入		歳出	
① 授産事業収入	⑦ 事業収入	① 授産事業支出	⑨ その他支出
② 会費収入	⑧ 共同募金配分金収入	② 人件費支出	⑩ 経理区分間繰入金支出
③ 寄附金収入	⑨ その他収入	③ 事務費支出	⑪ 固定資産取得支出
④ 助成金収入	⑩ 経理区分間繰入金収入	④ 事業費支出	⑫ 及び繰入支出
⑤ 経常経費補助金収入	⑪ 前期末支払資金残高	⑤ 分担金支出	⑬ 予備費
⑥ 受託金収入		⑥ 助成金支出	⑭ 当期末支払資金残高
		⑦ 負担金支出	

平成23年度 公益事業特別会計予算 (単位: 千円)

	歳入	歳出
地域包括支援センター	70,542	70,542
コミュニティソーシャルワーカー設置事業	6,502	6,502
心身障害者福祉センター及び母子福祉センター事業	3,392	3,392
ヒューマンケア事業	735	735

「支えあう 地域福祉活動」
社協会員にご加入下さい

市民の皆さんが地域福祉活動に参加する一つの
方法として、会員制度を設けています。
ぜひ、社協会員にご加入下さい。

年会費	会員区分
一,〇〇〇円	正会員
三,〇〇〇円	賛助会員
五,〇〇〇円	特別会員
以上	組織 構成会員

あなたの会費が地域福祉を支えています

次のような活動費として
会費の約 71.0%は地域に還元されています。
それ以外に、地域活動の支援やはばたきフェスタ・会員を募集するための経費として使われています。

地区福祉委員会活動	小地域ネットワーク活動
<p>見守り訪問活動・配食サービス</p>	<p>サロン活動・会食サービス</p>
<p>ふれあい広場や研修会の開催</p>	<p>地域清掃など</p>

地区福祉委員会だより

東地区福祉委員会

「子どもおもな地域で安全に」を合い言葉に空き巣などの犯罪への備えについて学びました。

2月20日(日)東野公民館
3月12日(土)東池尻公民館

東地区福祉委員会では、住民目線からの講演会が行われました。

自転車の乗り方や交通



熱心に質疑応答

南第三地区福祉委員会

ルールについての内容と「子どもおもな地域で安全に」を合い言葉に空き巣などの犯罪への備えについて学びました。

3月27日(日)
南第三小学校体育館

市内でも自転車の乗車中に巻き込まれる事故が、数件起こっている状況を知り、講演会を通して参加された方の安全意識の向上ができたと思います。

2会場での開催となりましたが、計65名の参加があり、今後も地域が主体となつてこのような講演会を開催していく意義について確認することができました。

参加者からは多くの質問があり、今回のテーマについての関心の高さを感じました。

今回は、より快適に大広間を利用できるよう、畳からフローリングにリニューアルしました。

畳に座布団という従来のスタイルは、日本の風土に合い落ち着きませんが、長時間の利用や障がいをお持ちの方にとっては辛いものです。合わせておこなう。

福祉センターだより

利用者の皆さんの要望もあり改修しました。

同時に、キャスター付きて楽に移動出来る机と、軽くて持ち運びしやすい椅子を購入しました。各種会議や講演会などにご利用下さい。

但し、利用規程がありますので、事前にお問い合わせ下さい。



快適になった大広間

あたたかい善意をありがとうございました

平成23年1月上旬から平成23年4月下旬までに預託をいただきました方のご芳名は左記のとおりです。(敬称略・預託順)

- 《個人名》 田葉 勇
- 《団体名》 大阪狭山市茶華道協会 ショップ南海金剛出店者会
JA大阪南女性会大阪狭山支部
日本基督教団金剛教会婦人会
自由メソヂスト教団葛城キリスト教会

救急講習会

はじめに、東日本大震災で尊い命を奪われた人々の冥福を祈り黙祷を捧げました。

続いて、消防本部救急グループの講師から日常生活等で発生するケガ、急病に対する応急、救命処置について説明がありました。

応急手当は、救命処置と止血法その他の応急手当に大別が出来ます。

呼吸や心臓が止まったときは、心肺蘇生法やAEDを使用して救命処置

福祉センターでは、みなさまのお越しを心よりお待ちしております。



AEDの手順を学ぶ

地域包括支援センターだより

第4回 ハートケアフェスタ (介護福祉展)

平成23年3月20日(日)
21日(祝)
SAYAKAホール

「高齢になっても、住み慣れた地域で住み続けられるまちへ」をテーマに介護・福祉に関する全ての人が、より身近に高齢者福祉を知ってもらい、地域で共に生きることのために開催しました。このイベントには、2日間で約1200人の方々が来場されました。

当日は、福祉用具の展示・体験、施設紹介、高齢者向けの給食の試食、高齢者作品展、各種ミニ講座・相談会等が実施され、会場はにぎわいを見せました。

訪問看護部会が「在宅における医療・看護・福祉」をテーマに実演を取り入れ、ケアマネ部会は「介護保険制度とケアマネジャーの役割」を題材に寸劇を上演しました。講座を開催

「高齢になっても、住み慣れた地域で住み続けられるまちへ」をテーマに介護・福祉に関する全ての人が、より身近に高齢者福祉を知ってもらい、地域で共に生きることのために開催しました。このイベントには、2日間で約1200人の方々が来場されました。

当日は、福祉用具の展示・体験、施設紹介、高齢者向けの給食の試食、高齢者作品展、各種ミニ講座・相談会等が実施され、会場はにぎわいを見せました。

訪問看護部会が「在宅における医療・看護・福祉」をテーマに実演を取り入れ、ケアマネ部会は「介護保険制度とケアマネジャーの役割」を題材に寸劇を上演しました。講座を開催

また今年も、新たな出展ブースとして「防災コーナー」を設置し、防災に関する知識や備えについて紹介しました。今回の東日本大震災のこともあって、来場された方々は熱心に聞いていました。

会場各所で東日本大震災に対する義援金の呼びかけをしました。



身近に感じた介護・福祉展

ご寄付はぜひ社協へ

社協では、善意の寄付や香典返しの代わりの寄付、バザー・イベント等の収益の一部などを地域福祉向上のため、様々な形で地域に還元しております。

例えば

- 地域での行事でお使い頂ける、貸し出し用備品の購入(イカ焼き機・ポップコーン機・綿菓子機等保)
- 社協で行われる事業への助成

※なお寄付金は、税控除の対象となっています。お礼状につきましては、社会福祉協議会でご用意させていただきます。

☆お問い合わせ ☎ 367-1761

救急医療情報 キット配布中

配布対象者で希望される方に無料で配布しています。

▼ 配布対象者 ▼

- ① 65歳以上のひとり暮らしの世帯
- ② 65歳以上の高齢者だけの世帯
- ③ 日中や夜間に65歳以上でひとりになる世帯
- ④ 日中や夜間に65歳以上の高齢者だけになる世帯
- ⑤ 身体障がい者手帳1級・2級、療育手帳A・B判定、精神障がい者保健福祉手帳1級の手帳を保持している人
- ⑥ 特定疾患医療受給者証を保持している人

お問い合わせ ▶ 社会福祉協議会まで ☎ 367-1761

笑いは健康のもと 「上方落語特選競演会」

◆平成23年3月13日(日) SAYAKAホール

大阪狭山市地区福祉委員会主催で、高齢者向け事業の一環として、笑いをと声を出すことは身体にも良く、笑いは健康のもとをスローガンに開催したところ、780名の65歳以上の方の参加がありました。

当日は、東日本大震災の被災者支援としてのご協力を呼びかけました。多くの皆さまから心温まる義援金(86,047円)をいただき、誠にありがとうございました。

笑いを求めて...

…さつき荘相談室までどうぞ…

心配ごと相談	毎週月曜日	午後1時～4時
身体障がい者相談	第1・2・3・4金曜日	午後1時～4時
ひとり親家庭相談	第1・3土曜日	午前10時～正午
知的障がい者(児)相談	1・2・3・4水曜日	午後1時～4時

祝日などで相談日の変更になる場合があります
電話での相談・問い合わせは ☎ 367-1761

子育ておしゃべりライン
☎ 367-6601 毎月第2・4木曜日 午前10時～午後4時

編集後記

東日本大震災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りします。

今回の大震災による惨状は、想像を超えるものがありました。自然の凄まじい力を目の当たりにして、普通に暮らして

このことを実感しました。未だに余震が起きて油断の出来ない状態が続いています。特に原発事故の問題は今後どうなるのか、心からの笑顔に出会うために、がんばれ日本！一刻も早く安堵の日が来ますように。(記)